

2018年度BMCN研究会 趣旨説明

中島 和子

2018.8.12
国際基督教大学

©2018 Kazuko Nakajima

特別課題 (1)

多言語環境児に対する 特別支援教育適用の判断について

柴崎資料「ヒアリング調査」の結果より

©2018 Kazuko Nakajima



ある小学校では特別支援学級に在籍する12名の児童のうち10名がブラジル人である、との情報を得て

ヒアリング調査 2015~2017

©2018 Kazuko Nakajima

ヒアリングの結果(2015-2017年)

	生徒数			特別支援学級					
	① 総数	② 日本人	③ 外国人	対総数比率		日本人比率		外国人比率	
				④ 総数	④/① 比率	⑤ 日本人	⑤/② 日本人比率	⑥ 外国人	⑥/③ 外国人比率
2015年	51,045	49,159	1,886	847	1.66%	730	1.48%	116	6.15%
2016年	49,473	47,300	2,206	1,156	2.34%	1,025	2.17%	131	5.94%
2017年	152,725	147,343	5,393	3,600	2.36%	3,330	2.26%	270	5.01%

三年間のヒアリングで、傾向は変わらず、
外国人児童における在籍率が高い！

2%前後 < 5%前後

©2018 Kazuko Nakajima